

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

そこは、行けば行くほど発見がある街。
ちょっとシャイだけど、オモシロイ人であふれた街。
ビヨウなところが、セツミョーに心地よい街。
来て楽しい、食べて楽しい、そして、住めばもっと楽しい街。
宇都宮が大切にしたいこと、それは日々の暮らしの豊かさ。
100年先も宇都宮を誇れる人が、住みたいと思える街になるために、
そんな愛すべき宇都宮らしさを、もっともっと。

市民と議会を結ぶ

宇都宮市議会 自由民主党議員会

Vol.6

夢・うつのみや

発行日：2010年3月29日
発行：宇都宮市議会 自由民主党議員会
住所：〒320-8540
栃木県宇都宮市旭1丁目1-5
電話：028-632-2618
FAX：028-632-7140

ごみ分別で、CO₂削減と循環型社会を



「エコプラセンター下荒針」を視察

4月から、「エコプラセンター下荒針」が稼働します。

わが会派は、平成22年2月22日に下荒針に建設している「エコプラセンター下荒針」を視察しました。

「エコプラセンター下荒針」は、収集した「プラスチック製容器包装と白色トレイ」を選別・圧縮梱包するための中間処理施設です。

「焼却ごみ」と「プラスチック製容器包装等」の分別をきっちり行うことにより、「焼却ごみ」が減少し、「プラスチック製容器包装等」は梱包処理されて資源として生まれ変わります。

このことにより、「焼却ごみ減少によるCO₂の削減」と「循環型社会の形成」との2つの効果が期待できます。

わが会派では、ごみ処理にかかる経費を最小限にとどめるといふ今日的な課題のためには、このごみ分別は有効な手段であると提言し、まさに時代に合致した施策として、この事業を積極的に推進してまいりました。この事業の成否は、市民の皆様の日頃の取り組みにかかっています。この効果を確実なものとするよう、市が配布した「資源とごみの分け方・出し方」の冊子とチラシを参考に、より一層の「ごみ分別」をお願いいたします。

なお、同日、雀宮駅東地区の第3図書館（仮称）も視察しました。第3図書館（仮称）をはじめ、雀宮駅周辺整備も順調に工事が進んでいます。

市民の声を市政に！！

宇都宮市議会自由民主党議員会では、より多くの市民の皆様の声を市政に反映させるために、積極的に取り組んでいます。
この「夢・うつのみや」に掲載いたしました記事へのご意見・ご感想をはじめ、皆様方の声をぜひお聞かせ下さい。
市民に開かれた市議会を目指し、引き続き頑張っております。

ご意見・ご要望等は下記へ

電話：028-632-2618

FAX：028-632-7140

宇都宮市議会
自由民主党議員会

<http://www.utsunomiya-jimin.jp/>

三月定例会一般質問(抜粋) 小中一貫教育・地域学校園よりよい教育環境を



浅川信明議員

小中一貫教育・地域学校園の平成24年度全市実施に向け、先行実施するモデル校が効果的な取組を実施し検証できるようにするため、どのような人を配置しどのように活用するのか。教育の目標や指導の方針などを小・中学校9年間を見通して設定することで、よりよい教育活動を実現できる環境を整えるべき。

学校園に教員の補助を行う指導助手を2名ずつ配置し、わかる授業と楽しい学校生活につながるよう実践と検証をしていく。全市実施に向け、万全の準備を進める。

中心市街地の活性化について
若年夫婦世帯家賃補助制度について
保健福祉行政について
子育て支援の充実について
国民健康保険特別会計について
環境行政について
環境基本計画について
低炭素都市づくりについて
教育行政について
地域教育事業の取組について

三月定例会一般質問(抜粋) 保育所の最低基準を守り、質と量の確保を



阿久津均議員

平成22年度から、最低基準を守れば年度当初の定員枠を撤廃し青天井で入所可能にするとの厚生労働省保育課長通知が出されたが、本市としての認可保育所の入所定員弾力化についての見解は。また、保育園等の整備に対する財源の確保について、どのように保育の質と保育の量の拡充を担保していくのか。

福祉施設最低基準」を遵守し、定員の範囲内で行うことが原則。また、より一層の保育の質の向上に努めるとともに、希望するすべての方が保育サービスを受けられるよう、受け入れ体制を整備していく。

子ども手当の考え方と進め方について
(仮称)宮っこ子育て子育て応援プランの考え方
農業政策と戸別所得補償制度について
住民自治の推進について
「協働のまちづくり」の具体的な進め方について
「新しい公共」の育成と支援について
篠井ニュータウン分譲事業について
犯罪のない安全で安心なまちづくりについて

三月定例会一般質問(抜粋) 岡本駅西土地区画整理事業の見通しは



手塚典雄議員

岡本駅西土地区画整理事業について、事業期間を延伸するに当たり、現状をどのように捉えたのか、その考え方について伺う。また、今後の事業展開をどのように考えているのか、その見通しについて伺う。

などの計画見直しに伴い、全体の事業費が増大したため、平成35年まで5カ年延伸する。平成30年には8割程度が完了すると考えており、計画通り進められるよう努めていく。

合交付金の制度内容について
農産物直売所について
JAうつのみやと連携し検討してきた「大型直売所」整備の進捗状況と今後の取組について
エコプラセター下荒針について
ジャパンカップ・サイクルロードレースについて
教育行政について
教員の育成について
教職員のメンタルヘルス対策について

三月定例会一般質問(抜粋) 宝木地区・新川沿い調整池の整備など、溢水対策を



舟本 肇議員

宝木地区の新川沿いの調整池の設置について、事業計画は。また、他地区の溢水の状況、対策、今後の計画について伺う。

時に被害が発生している地区においてそれぞれ状況に応じた溢水対策を講じている。今後は、奈坪川今泉工区の流入立穴の整備、陽東地区の越戸川護岸整備、清原地区の刈沼川調整池の整備を進めるなど、溢水被害解消に向け取り組んでいく。

における防犯無線設置について
景観形成の取組について
交通政策・道路行政について
教育行政について
小中一貫教育と英語教育について
少人数学級、少人数授業、TTの導入について
学校の安全体制の確保充実について
学力調査について
本市学校におけるデジタルテレビの活用について

栗田都市開発部長 今後、移転対象となる約8百棟の建物が必要であり、移転に相当な時間が必要であり、また、建物移転や道路整備

市街地整備について
平松本町第三地区の取組状況と事業着手の見通しについて
(仮称)社会資本整備総

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
財政について
市街地整備について
平松本町第三地区の取組状況と事業着手の見通しについて
(仮称)社会資本整備総

寺内建設部長 宝木地区の新川については、溢水被害の軽減を図るため、平成21年度に調整池の用地を取得するとともに、現在詳細設計を実施している。新年度、早期着工に向け努める。他地区については、集中豪雨

その他の質問項目
市長の政治姿勢について
中心市街地活性化について
まちづくりについて
安全で安心なまちづくり

少人数学級、少人数授業、TTの導入について
学校の安全体制の確保充実について
学力調査について
本市学校におけるデジタルテレビの活用について



大貫隆久議員

危機管理課が設置されて3年が経過するが、これまでの取組事業への対応を振り返り、評価は。危機管理部署と事業部署との役割所轄部署不明事業の明確化、マスコミへの情報提供、県や国に対する支援要請の訓練など、どのように行っているのか。本市においても強毒型の新型インフルエンザを想定した業務継続計画を策定すべきと考えるが。

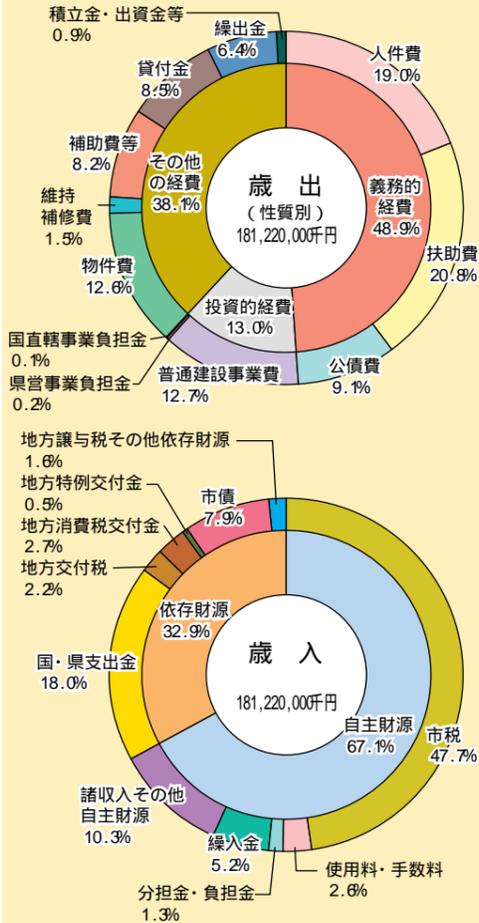
佐藤市長 市としての迅速な意思決定や応急対応のための体制の構築ができるようになり、被害の未然防止や拡大防止に結びついている。また、正確な情報提供、「国・県・市災害対策連絡協議会」による合同訓練の実施など、緊密な連携確保に取り組んでおり、今後とも危機対応力の向上を図り、市民の安全・安心を確保していく。強毒型の新型インフルエンザ対策については、来年度、業務継続計画を策

定し、体制の確保を図っていく。
 その他の質問項目
 市長の政治姿勢について
 マニフェストについて
 外国人参政権について
 夫婦別姓について
 職員の服務規律について
 宇都宮市北東部地域の観光振興について
 氏家大橋下のイベント広場への熱気球大会誘致について
 環境行政について
 ごみ減量目標について

平成22年度予算可決

一般会計 1,812億円

前年度当初比 6.8%増



宇都宮市議会は三月定例会最終日の25日、本会議を開き、来年度一般会計予算など51件を原案通り可決しました。
 来年度一般会計予算は、前年度当初比6.8%増の1,812億円。健全な財政運営等に配慮しながらも景気対策や市民生活の向上を求めた、自民党議員会の要望を反映したものとなりました。
 自民党議員会では、来年度予算の迅速かつ適切な執行と市民生活への配慮を求めていきます。

市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

男性

民主党は、今国会で外国人参政権の法案を通そうとしています。他にもいろいろあるようですが、テレビ報道などもされないまま、ほとんどの国民が知らされないまま、実現しようとしています。このことに強い憤りを感じます。

男性

民主党の子ども手当に所得制限を付けないことに絶対反対です。本当に必要な人に税金を使うべきです。また、国民年金を削られた60歳以上の仕事もない高齢者はどう生きていけばいいのですか。もっと弱者に目を向けるべきです。

男性

- ・議員は視察研修に行っているが、どのように活かしているのか。
- ・先進地の観光事業などをもっと活かしていただきたい。
- ・宇都宮市の魅力は何か？それを考えている議員はいるのか。

- ・今後、道州制になったことを考えると、州都を取るつもりで政令都市を目指して行くべきだ。
- ・民主党のリーダーの政治と金の問題は、一般の国民の感覚からずれていて、呆れてものが言えない状況だ。
- ・議員定数を大幅に削減してほしい。

男性

- ・湯西川ダムは、88億円もかけて、水害被害は今後あるのか。これだけの金額は、有事の際に使った方がいいと思うがどうか。
- ・前回の広報誌の「市民の声」で、市の職員のタイムカードの件があったが、無いというのはどういうことか。民間企業では絶対にあり得ないと思うがいかがか。
- ・議員の給料は日給にしたらどうか。

男性

- ・水があまっているから湯西川ダムは必要ない。
- ・城址公園も必要ない。ただの広場でいい。

男性

- ・水確保(ダム)もいけれども、CO₂・水資源を考えるなら、森林確保に努め、市民の協力を得て、井戸の普及、河川の重要性を考えてください。

男性

- ・前回の広報誌で平出工業団地の産廃施設について、デモ反対の意見があったが、峰地区連合会として反対しているのでは、やみくもに反対しているわけではない。

男性

- ・自民党のLRT先送り要請について
 「将来持続可能なまちづくりにふさわしい社会資本の整備として必要」と前提されている根拠となる声の出所と考え方を知りたいです。今年の初め、消防の出初式で大通りが車線を減らただけで、交通量の少ない時期に、警察の全面的誘導があったにもかかわらず、街中は渋滞でした。こんな事が毎日続いたら中心街の過疎化はますます進むことになるでしょう。実は市民はLRTを必要としていないと思うのですが内容のあるお返事をお待ちしています。

男性

- ・新聞折り込みの「夢・うつのみや」で見ました。なぜ「LRT」が必要なのかよくわからない。「バス」事業の整備のほうがいいのでは？
 理由としては、「バス」のほうが圧倒的に小回りがきき、狭い道

でも入っていきける。したがって、あちこちに停留所を設けることができLRTの駅から遠い人、歩くのが困難な方に対し全然便利で「使える」インフラになると思う。実家の方では「マイクロ・バス」も運用していて、停留所があちこちにあり運行間隔も比較的多い。私の老親はこれを利用しておおむねどこでも行ってしまふ。まさにタクシーがわりになり、タクシー会社に勤務する方々には申し訳ないが、市民のメリットは圧倒的だと思うが、なぜLRTなのか教えてほしい。「建設業界」「タクシー業界」「新たなシステム運用による天下りの確保」などどうしても考えてしまう。「宇都宮」の箱物事業は有名で、LRT事業を実現したら、また全国の皆さんから笑われるのか？市民として恥ずかしいのだが。

「市民の声」に対して、電話の方の場合は、議員が対応しております。また、文書等の場合、状況に応じて回答しています。
 今後とも、多くのご意見・ご要望をお寄せいただきたいと思います。

わが会派主導で 議会改革を推進

わが会派では、積極的に議会改革に取り組んでいます。

議員定数 = 3減の 47

現在の議員定数の法定上限数は56名ですが、2007年の改選にあたり6名減の50名を条例定数とした経過があります。

わが会派では、更に議会改革を進めるべく、他会派に呼びかけを行い、議論を進めてきました。平成22年2月23日の議会制度検討会議では、「自民党45 民主市民（原則50）48 公明党48 統一45 共産50」との主張がなされました。

わが会派は、定数を少なくしたかったところですが、一方的な決め方をせず、他会派の意見も尊重するという考えから、結果的には47名で落ち着きました。

このことにより、年間3,400万円の経費が削減されます。

政務調査費 = 月額2万円減の10万円

現在の政務調査費は一人月額12万円である。（2008年に一人月額15万円から12万円に減額した。）

わが会派では、議員定数同様、議会改革を進めるべきとの考えから、議論を進めてきました。平成22年1月25日の議会制度検討会議では、自民党と公明党が月額8万円を主張、民主市民、統一、共産党が現状維持（月額12万円）を主張したため、調整がつかせませんでした。

わが会派としては、なるべく経費を抑えたかったところですが、他会派の主張も尊重するとの考えから、結果的には月額10万円で落ち着きました。

このことにより、年間1,152万円の経費が節減されます。

議員定数削減と政務調査費減額は、3月議会で可決されました。

意見書

宇都宮市議会は、3月定例会で、わが会派が提出した以下の3件の国に対する意見書を可決しました。

◆ 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

現在、政府・民主党において、永住外国人への地方参政権の付与について法制化を図るという動きが見られるが、我が国の民主主義の基盤にかかわることでありながら、国民的な合意が得られていない状況にある。

永住外国人が憲法に基づく参政権を取得するためには、国籍法に定める帰化によるべきものであり、国においては、永住外国人への地方参政権付与の法制化をすることのないよう強く要望する。

◆ 保育所の最低基準の堅持を求める意見書

保育所整備が追いつかず、入所できない待機児童が数多く存在し、大きな社会問題となっている。

保育所の最低基準は、戦後間もない昭和23年に制定されたものであり、子供の健康と健全な育成に必要な最低限の基準。

基準の緩和により量的拡大のみを進めることは、保育環境の悪化を招き、将来を担う子供たちの育ちに悪影響を与える。

国においては、保育所の最低基準を堅持するとともに、国の責任のもとで現行保育制度を実施するよう強く要望する。

◆ 選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書

選択的夫婦別姓制度については、法務省が民法改正案の概要を提示するなど、今国会での制度導入に向けた作業が進められている。

今日、家族の一体感を再認識し、家族の絆を強化することが必要であり、国においては、婚姻制度や家族のあり方に影響を及ぼし、社会的混乱を招くおそれのある選択的夫婦別姓制度を導入することのないよう強く要望する。

（内容抜粋）



総務常任委員会
鎌倉三郎 ⑨
大寛2丁目6-13
TEL. 634-4705
FAX. 639-6407



厚生常任委員会
中山勝二 ⑧
江曾島町1027-2
TEL. 658-3318
FAX. 659-1993



建設常任委員会
篠崎光男 ⑦
雀宮町1-1
TEL. 654-0770
FAX. 653-9897



環境経済常任委員会
山崎守男 ⑦
新富町2-5
TEL. 653-6746
FAX. 653-6746



厚生常任委員会
黒後 久 ⑥
峰4丁目3-15
TEL. 661-6598
FAX. 660-6687



文教消防水道常任委員会
小野里豊 ⑥
一条3丁目1-6
TEL. 634-8729
FAX. 633-1366



議長
厚生常任委員会
今井昭男 ⑤
陽東1丁目16-12
TEL. 661-3529
FAX. 660-1568



総務常任委員会
大貫隆久 ⑤
緑2丁目16-2
TEL. 658-2743
FAX. 659-0380



総務常任委員会
委員長
阿久津善一 ④
屋板町725-1
TEL. 656-3233
FAX. 656-3233



文教消防水道常任委員会
浅川信明 ④
一条4丁目5-28
TEL. 633-0015
FAX. 633-0155



副議長
建設常任委員会
南木清一 ③
平出町2923
TEL. 661-0775
FAX. 661-2301



総務常任委員会
金子和義 ③
平塚町130-5
TEL. 656-2753
FAX. 656-2059



建設常任委員会
塚田典功 ②
松原1丁目2-11
TEL. 627-1662
FAX. 637-4969



厚生常任委員会
阿久津均 ②
泉が丘4丁目8-3
TEL. 663-8070
FAX. 661-7701



文教消防水道常任委員会
渡辺道仁 ②
田野町595-47
TEL. 652-7200
FAX. 652-7200



環境経済常任委員会
中島 宏 ②
砥上町1630-7
TEL. 649-0071
FAX. 649-0037



文教消防水道常任委員会
委員長
熊本和夫 ②
戸祭3丁目4-18
TEL. 622-7706
FAX. 622-0542



建設常任委員会
副委員長
角田和之 ①
西川田町489-18
TEL. 684-0085
FAX. 655-3577



総務常任委員会
副委員長
五月女伸夫 ①
下岡本町4234
TEL. 673-2072
FAX. 673-8580



厚生常任委員会
副委員長
岡本芳明 ①
上籠谷町1739-1
TEL. 667-0343
FAX. 667-0343



文教消防水道常任委員会
舟本 肇 ①
御幸ヶ原町155-1
TEL. 689-3711
FAX. 689-3736



建設常任委員会
手塚典雄 ①
下ヶ橋町687
TEL. 673-4134
FAX. 673-4134



環境経済常任委員会
横松盛人 ①
大谷町2003-3
TEL. 652-5272
FAX. 652-5272



環境経済常任委員会
委員長
小林紀夫 ①
海道町143
TEL. 661-5465
FAX. 661-5465



環境経済常任委員会
櫻井啓一 ①
篠井町1577
TEL. 669-2994
FAX. 669-2546



厚生常任委員会
山田孝英 ①
下小倉町1529
TEL. 674-3884
FAX. 674-3237

ご意見・ご感想は 身近な当会議員に！

掲載致しました記事だけでなく、市民の皆様が日頃感じている暮らしに関すること等のご意見・ご要望・ご感想を、身近な議員にもお気軽にお寄せ下さい。

※名前の後の○数字は期数です。